

桐朋には、私の「居場所」がありました。



上智大学言語学修士課程修了後、
カリフォルニア大学ロサンゼルス校にて
応用言語学博士号取得。
現在東京外国語大学大学院
総合国際学研究院教授。

39期黄
吉富 朝子

<同期の仲間と>

東京外国語大学大学院 教授

小学校時代転校が多かった私は、
桐朋女子で初めて気の置けない仲間ができました。
桐朋は苦手分野でさえも居場所がある学校でした。
運動の不得手な私が体育祭に団体徒手で6年間参加できたことは大きな経験です。
体育祭では優勝を逃しましたが、桐朋祭では「漏刻」という水時計を作り
ポロニア賞を取ってリベンジを果たしました。
授業以外の場にも学びの機会があり、そこで力を発揮できる学校であった
と思います。

英語の授業は質が高く、帰国子女で英語を感覚的に覚えた私に、
言語には文法という体系性があることを教えてくれました。
言語学を専攻するようになったきっかけです。UCLAで応用言語学博士号を取得後、
運よく次々と教職のお誘いを頂き今に至っています。常に具体的な目標をもち、
それをひとつずつクリアしてきたからこそ開けた道かもしれません。

「桐朋生は桐朋が大好き！」という熱い母校愛は、私の心と体の健康の支えです。